

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	最新の進捗状況等
高齢化が進んできている。若者が興味が沸くまちにして欲しい。	天神山校区も高齢化が進んでおり、公営住宅の空きも多いと聞 が、住民によって花火大会を実施するなど、地域コミュニティが活 発な地域であると認識している。	令和8年度施政方針に基づき、「子育て世代に 選ばれる岸和田」「教育の充実」「スポーツに よる地域の活性化」に資する各種施策を推進し ています。
地域に子どもが少ない。少子高齢化岸和田の未来を発信する子育て しやすいまちに。	第2回定例市議会の補正予算案で、選挙公約に掲げた施策を盛り込ん でいる。	子育て支援策の効果的なPRなど、総合計画第 1期基本計画に重点目標として掲げ、各種施策 を推進しています。
高齢化が進む中、このまちをどうしていくかというのは、自分たち が考えなければならないことだと思っている。市もそれぞれのまち づくりを援助してもらえたら。ここをモデルにしてでも、どんなま ちづくりができるか話し合いも持って考えてくれたらとても嬉し い。	ご意見として承る。	自治基本条例の理念に基づき、市民自治都市の 実現に向けての取組を推進していきます。
岸和田駅前を活性化するためには、都市計画の見直しが必要だと考 える。駅の手側商業地域で400%の容積率であるのに対して、駅の山 側のエリアは300%或いは200%です。駅周辺にマンションが建設さ れ定住人口を増やす政策を進めてほしい。	引き続き社会動態及び土地利用の動向等に注視し、適切な都市計画 の変更を行っていく。	
海外からのインバウンドを受け入れるための都市開発をどのように 考えているか。子育てしやすい地域にする取り組みをどう考えてい るか。今、市として考えている政策があれば教えてほしい。	市庁舎がopsol福祉総合センター横の敷地に移転することで人の流れ が変わる。現庁舎跡地利用も考えていく。山側に人が来る流れの 中、海側にも人が流れる仕組みを作りたい。子育て世代への経済的 支援として、小中学校の給食費無償化を実施したい。保育園の環境 も良くしたい。子育て世代に来てもらうことで税収増も見込める。 本市単独で考えるのではなく、他の市町と連携できる部分もあると 考える。	将来ビジョン・岸和田第1期基本計画の重点目 標として定めている、子育て家庭への経済的な 支援、保育・教育環境の向上など各種施策を推 進しています。
岸和田駅前の活性化をして行ってほしい。	岸和田駅前の活性化にも取り組まないといけない。市庁舎がopsol福 祉総合センター横の敷地へ移転するので、その流れで何かできない か考えたい。	
本市は犯罪発生率が高いと聞いている。内容は分からないが、これ からの岸和田市の住み良い町づくりや、若い人が市外に出て行って しまうことの対策にも必要だと思う。また、岸和田市のイメージ悪 化が地盤沈下につながりかねない。	イメージ向上には、長い年月をかけなければならない。岸和田と言 えば「だんじり」。これにプラスして「スポーツのまち」というプ ランディングをしていきたい。	イメージ向上はシティセールス推進事業全般で 担っています。「スポーツのまち」としてのプ ランディングは総合計画等に基づき展開しま すが、現状はSNS等による関連情報の発信に留 まっています。
隣接する和泉市との格差を感じる。泉州山手線の延伸を機に開発 を。和泉中央駅から公共交通の整備。	ローズバスについては路線バスを補完するものであるので山手地域 にローズバスを走らせることはできないが、まずは現段階で山手地 区で実現可能な公共交通として、和泉中央駅へ繋がる路線バス山直 線を導入している。今後も泉州山手線と沿道まちづくりの進捗に伴 い、最適な公共交通を導入するべく検討を進める。	泉州山手線と沿道まちづくりの進捗に伴い、同 路線への基幹的な公共交通の導入に向け、国や 府等の関係機関との協議に着手しています。
市街化調整区域を部分的に市街化に。若い世帯が家を建てたいが調 整区域で建てられない。6町あるが山直南小学校の生徒の半分は岸 の丘町の子ども。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続きについては、都市計画 法に基づき府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大 については原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入 は困難であるとする。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案 制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイ ドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的と した一体的な日常生活圏を構成する概ね1ha以上の区域において、 当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所 定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住 宅の建設が可能となる場合がある。また、市街化調整区域の既存集 落における分家等住宅の立地にかかる開発許可については、運用基 準等の周知を図るほか、事務処理期間の短縮を図れるよう、必要書 類等の見直しを検討する。	
岸の丘町の住宅地にに避雷針の設置をして欲しい。	土地区画整理組合とも情報共有し、電力会社（関西電力等）への問 合せも実施したが明確な解決策は得られず、現状、避雷設備の設置 補助等を行政にて行うことは困難である。	
岸和田中央線から国道26号までの延伸計画はどうなったのか。	岸和田中央線については、大阪府事業路線となっており、引き続き 大阪府に対し、事業化に向けた検討を進めるよう協議していく。	
世帯数も増えてきたので尾生町にスーパーを誘致して欲しい。	あらゆる機会を通じて民間とのマッチング等、模索していきたい。	
各審議会は岸和田市のために考えてくれているのか？よその人の集 まりで信用できない。	各審議会の委員からは、豊かな知見を基に貴重なご意見を頂いてい る。市民委員からも積極的な意見を頂いており、民主的な運営が行 われている。	
春木駅周辺のその後は。	これまで駅周辺の交通安全対策として、踏切の改良や周辺道路の整 備等を段階的に実施してきた。現在、線路沿い山側の春木駅大宮駅 線の道路拡幅工事を実施中であり、令和8年度末完了見込み。今後も 段階的に駅周辺の利便性向上に向け継続して取組んでいく。	春木駅大宮駅線の道路拡幅工事につきましては、令和8年度末の工事完了および供用開始を 予定しています。今後も駅周辺の利便性向上に 向け、段階的な取り組みを継続してまいりま す。
JR久米田駅前の開発について。駅周辺の開発が滞っている。地域の 活性化について何年後を目途に開発されるのか。	令和5年9月に西側改札とアクセス道路が供用されたことにより、東 側交通量の低減につながっているものの、未だ東側駅前の送迎車両 と自転車・歩行者との交錯による危険な状態は解消できていない。 そのため、利用圏域が広く早期実現が望まれる東側の交通広場整備 を早期に進めたいと考えており、現在、令和10年度までの4年間での 完了を目指している。	駅東側の交通広場整備につきましては、現在、 対象物件の移転に向けた調整を進めています。 今後も引き続き、事業の推進に取り組んでまい ります。
子どもたちが将来住み続けたいと思えるまちづくりを。	「選ばれ、住み続けたい」と思える環境整備に努めたい。	

校区内にある老朽建物について、一部崩落し、建材等落下の危険性が高く、非常に危険。子供達も建物の前を通るので、速やかに解体もしくは補修してもらいたい。	数年前から建物所有者に対して解体もしくは応急措置を求めている。部分的な解体又は段階的な解体もしくは補修について、速やかに解体業者や工務店と相談されるよう指導したところ、「相談のうえ対応する」との回答。今後も経過を観察し、指導を継続する。	
泉州山手線及び土生郷修斉線の早期完成。	泉州山手線の整備（府事業）については、令和6年度より工事の準備段階である測量業務や道路設計等に着手されているが、山直東地区まちづくりの進捗と歩調を合わせつつ、今後概ね10年間で岸和田中央線までの約2.3 k mの整備が予定されている。	令和7年12月に山直東土地区画整理事業が認可されたことを受け、大阪府は令和8年2月に泉州山手線（山直工区）の詳細設計業務を発注いたしました。今後はさらなる府市連携のもと、早期延伸に向けた取り組みを推進してまいります。
市街化調整区域の見直し。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続きについては、都市計画法に基づき府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大については原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入は困難であるとする。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的とした一体的な日常生活圏を構成する概ね1 ha以上の区域において、当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住宅の建設が可能となる場合がある。	
泉州山手線延伸の進捗、南海バスの路線追加。	泉州山手線の整備（府事業）については、令和6年度より工事の準備段階である測量業務や道路設計等に着手されているが、山直東地区まちづくりの進捗と歩調を合わせつつ、今後概ね10年間で岸和田中央線までの約2.3 k mの整備が予定されている。泉州山手線への路線の追加については、まずは和泉中央駅へ繋がる路線バス山直線を導入している。今後も泉州山手線と沿道まちづくりの進捗に伴い、最適な公共交通を導入するべく検討を進める。	（都市整備課）令和7年12月の山直東土地区画整理事業の認可を受け、大阪府は令和8年2月に泉州山手線（山直工区）の詳細設計業務を発引いたしました。今後はさらなる府市連携のもと、早期延伸に向けた取り組みを推進してまいります。 （交通まちづくり課）泉州山手線及び沿道まちづくりの進捗に伴い、同路線への基幹的な公共交通の導入に向け、国及び府等の関係機関との協議に着手しています。
ゆめみヶ丘から旧170号線まで開通して欲しい。	現状、事業費および事業効果等を勘案した中で延伸予定はない。これまでの経過としては、集落農道の延伸として令和2年春に市道稲葉神於山線が供用開始され、また集落農道の整備と合わせて関連市道の整備も実施し、近大泉州高校スクールバスの通行ルート変更により交通安全の向上が図られた。	
市街化調整区域を考え直す時期では。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続きについては、都市計画法に基づき府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大については原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入は困難であるとする。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的とした一体的な日常生活圏を構成する概ね1 ha以上の区域において、当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住宅の建設が可能となる場合がある。	
市街化調整区域での建築要件の緩和、区域の見直し、変更の事務処理のスピード化。	市街化区域の拡大等、区域区分の変更手続については、都市計画法に基づき大阪府が行うが、住宅の建設を目的とした市街化区域の拡大については、原則認めない方針が示されており、市街化区域への編入は困難であるとする。一方、都市計画法に基づく「都市計画提案制度」を活用し、「岸和田市市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に規定する当該地域コミュニティの維持、改善を目的とした一体的な日常生活圏を構成する概ね1 ha以上の区域において、当該地域で「既存集落地域の保全とまちづくり計画」を作成し、所定の手続きにより都市計画決定された場合、市街化調整区域内で住宅の建設が可能となる場合がある。また、市街化調整区域の既存集落における分家等住宅の立地にかかる開発許可については、運用基準等の周知を図るほか、事務処理期間の短縮が図れるよう、必要書類等の見直しを検討する。	
子育て世代は住みにくい。サービス向上して欲しい。祭りにお金かけすぎ。	サービスは向上させていきたい。本市は公共施設が多く、ランニングコストがかかるので、幼保再編にて新たな財源を生み出していきたい。祭礼に係る支出については、観光客のための仮設トイレ設置や安全対策等の目的で後方支援に係る経費として、年間約4,300万円を支出している。	将来ビジョン・岸和田第1期基本計画において、子ども保育・教育環境の向上、子育て世代の定住促進、「子育てしやすいまち」のイメージアップを進め、子育てしやすい岸和田の実現を掲げ、進めています。
久米田駅山側の早期開発を。	令和5年9月に西側改札とアクセス道路が供用されたことにより、東側交通量の低減につながっているものの、未だ東側駅前の送迎車両と自転車・歩行者との交錯による危険な状態は解消できていない。そのため、利用圏域が広く早期実現が望まれる東側の交通広場整備を早期に進めたいと考えており、現在、令和10年度までの4年間での完了を目指している。	駅東側の交通広場整備につきましては、現在、対象物件の移転に向けた調整を進めています。今後も引き続き、事業の推進に向けた取り組みを展開してまいります。
紅葉ヶ丘、大町の府有地は、今後どのように計画されているか	状況を確認する。	府・市で連携し、検討します。

駅周辺、商店街の活性化を。	岸和田駅周辺の人の流れを変えたい。庁舎移転で商店街を活気づけられるよう迅速に進めていきたい。今回、プレミアム付デジタル商品券の補正予算案を上程した。そのほかにも自転車のヘルメットの補助金や子育て支援にも取り組んでいきたい。駅前ホテルの誘致については、令和7年10月よりホテル事業者を対象にサウンディング型市場調査を実施し、誘致に向けた事業者の意向調査や各種条件の整理を行う予定。	プレミアム付デジタル商品券の発行に向け、今秋の実施を目指して準備を進めています。
岸和田駅周辺にホテルを誘致してはどうか。重ねて庁舎跡地も景観に合った宿泊施設を誘致すればどうか。	岸和田市に足を止めてもらうためにホテルの誘致は積極的に取り組んでいきたい。庁舎は令和13年4月に福祉総合センターの横へ移転。庁舎跡地の活用も考えていきたい。 工場や倉庫、オフィスなどと同様に市内への企業立地を促進するため、助成金を交付することにより誘致支援を図っている。 庁舎跡地の活用については、まちづくりの観点からの構想が必要であり、庁内横断的に様々な可能性を検討する。 駅前ホテルの誘致については、令和7年10月よりホテル事業者を対象にサウンディング型市場調査を実施し、誘致に向けた事業者の意向調査や各種条件の整理を行う予定。	ホテル等の宿泊施設を新設する事業者に対して助成金を交付する制度を設け、新規立地の促進を推進しています。また、現庁舎の跡地利用につきましては、新たな観光客を誘致する仕組みも含め、効果的な有効活用策に向けた検討を進めてまいります。
市長には今後どんなことをしていくのか明確に打ち出してほしい。	インフラ整備は、町の発展に大きな影響を与える。岸和田駅周辺を含め、商店街を活気づけたい。	
泉州山手線・田治米畑町線の早期延伸を希望。	泉州山手線の整備（府事業）については、令和6年度より工事の準備段階である測量業務や道路設計等に着手されているが、山直東地区まちづくりの進捗と歩調を合わせつつ、今後概ね10年間で岸和田中央線までの約2.3kmの整備が予定されている。また、田治米畑町線についても上松の方から工事を進めていく。	令和7年12月の山直東土地区画整理事業の認可を受け、大阪府は令和8年2月に泉州山手線（山直工区）の詳細設計業務を発注済みです。今後はさらなる府市連携のもと、早期延伸に向けた取り組みを推進してまいります。また、田治米畑町線につきましては、令和8年1月30日付での事業認可期間の延伸を受け、引き続き事業の推進を図ってまいります。
南海岸和田駅・和泉大宮駅周辺の開発計画は。	駅前に人の流れをつくりたい。ホテルの誘致は積極的に取り組んでいきたい。	ホテル等の宿泊施設を新設する事業者に対して助成金を交付する制度を設け、新規立地の促進を推進しています。
東岸和田駅前が再開発進んでいるようですが、南海岸和田駅からベイサイドモールまでの商店街にあまり活気がなく、空き店舗が多いように思います。その辺りの再開発の計画などありますか。	岸和田駅周辺の人の流れを変えたい。駅前ホテルの誘致については、令和7年10月よりホテル事業者を対象にサウンディング型市場調査を実施し、誘致に向けた事業者の意向調査や各種条件の整理を行う予定。	
空き家整備の際、前面道路が狭幅のため新築を構築しづらい。市としての特例区を設けられないか。城内校区もさることながら、浜・中央校区も厳しい。	建築基準法の規定では、建築物を建てる場合、その敷地が交通上、安全上、防火上及び衛生上支障のないよう、接道義務を満たす必要があるが、その要件を緩和するための特区の設置については、その他関係法令を含め、ハードルが非常に高いと考える。前面道路が狭い場合であっても、一定の幅員が確保できているのであれば、中心後退すること（セットバック）により住宅の建替えが可能となる場合があるので、詳しくは建設指導課の窓口までお問い合わせいただきたい。	
地域内に大型トラックが出入りする倉庫があるが、用途地域に適合しているのか。	用途地域に不適合であれば、行政指導の対象となる。	ご指摘の倉庫につきましては、所在する用途地域に適合しない建築物である場合、行政指導の対象となるため、建設指導課までご相談ください。